

2016年業績紹介

(学会・論文・学位取得者・研究費一覧)

2016年業績紹介

業績

2016年学会一覧

《学会発表（国内）》

2016.1.15 第84回大腸癌研究会（熊本）

Stage IV大腸癌に対する治療成績（M1a, M1bの比較）

吉田雅、本間重紀、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

大腸癌における血中循環腫瘍細胞と骨髄腫瘍細胞～再発と癌関連死～

石黒友唯、崎浜秀康、吉田雅、下國達志、本間重紀、川村秀樹、武富紹信

2016.1.20 第19回札幌肝不全懇話会（札幌）

Acute on chronic肝不全（原因不明）に対し脳死肝移植を施行した1例

腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤了一、山下健一郎、鈴木友己、武富紹信、嶋村剛

核酸アナログ中断後のB型慢性肝炎増悪に対し脳死肝移植を施行した1例

腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.1.23 第35回北海道腎移植談話会（札幌）

当科で施行した腎移植9例の経過報告

腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤了一、山下健一郎、鈴木友己、武富紹信、佐々木元、岩見大基、森田研、嶋村剛

2016.1.27 第50回新さっぽろ消化器懇話会、特別講演（札幌）

肝臓外科領域の最近の進歩と今後の展望

武富紹信

2016.2.6 第8回消化器疾患プロジェクト会議、特別講演（東京）

消化器癌における腫瘍血管内皮細胞の機能解析

武富紹信

2016.2.12 第4回北海道小児外科フォーラム（札幌）

重症心身障がい者に対する周術期管理におけるDoripenem（DRPM）の使用経験

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、武富紹信

2016.2.14 第43回日本集中治療医学会（神戸）

持続緩徐式血液濾過器の（1→3）-β-Dグルカン値に関する基礎的検討

太田稔、岡本花織、加藤伸彦、南昭子、川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、後藤了一、山下健一郎、嶋村剛

2016.2.27 第104回北海道外科学会（札幌）

StageIV 胃癌に対する腹腔鏡下手術の安全性に関する検討

佐野修平、川村秀樹、吉田雅、下國達志、本間重紀、崎浜秀康、武富紹信

診断に苦慮した臀部巨大類表皮嚢胞の1例

藤居勇貴、本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

自己免疫性膵炎のフォロー中に胆管癌を発症した1例

村田竜平、蒲池浩文、敦賀陽介、岡田宏美、三橋智子、長川達哉、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

術前診断困難であった巨大な細胆管細胞癌の一切除例

今泉健、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

胆道結石術後に続発した胆汁性肝硬変に対して脳死肝移植を施行した1例

大淵圭祐、財津雅昭、川村典生、腰塚靖之、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.3.3-4 第52回日本腹部救急医学会総会（東京）

下大静脈原発悪性腫瘍に対して外科的切除により致命的な合併症を防ぎ得た1例

大淵圭祐、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、藤居勇貴、敦賀陽介、蒲池浩文、後藤了一、岡田宏美、三橋智子、嶋村剛、武富紹信

肝移植後脾動脈瘤破裂をきたした2例

財津雅昭、川村典生、腰塚靖之、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.3.3-5 第43回膵・膵島移植研究会（広島）

膵島移植におけるプロテアソーム阻害による早期グラフト障害の抑制

小野仁、旭火華、吉田雅、腰塚靖之、渡辺正明、外丸詩野、江本慎、深井原、嶋村剛、武富紹信、藤堂省、山下健一郎

2016.3.5 第15回東日本肝移植周術期研究会（東京）

肝移植前リンパ球クロスマッチ陽性の予後予測因子の検討

後藤了一、財津雅昭、川村典生、腰塚靖之、太田稔、鈴木友己、神山俊哉、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.3.5 第94回日本小児外科学会北海道地方会（札幌）

後腹膜奇形腫と鑑別が困難であった後腹膜脂肪芽腫の1例

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、河北一誠、奥村一慶、矢部沙織、武富紹信

Perineal canalの1例

矢部沙織、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、河北一誠、奥村一慶、武富紹信

2016.3.5-6 第118回消化器病学会北海道支部例会（札幌）

肝線維化が99mTc-GSAシンチグラフィに及ぼす影響

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

同時性肝転移を伴った大腸癌に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の検討

吉田雅、本間重紀、下國達志、崎浜秀康、高橋典彦、川村秀樹、柿坂達彦、神山俊哉、武富紹信

当教室における鏡視下手術教育プログラム—初期教育から技術認定医取得まで—

下國達志、川村秀樹、吉田雅、本間重紀、崎浜秀康、武富紹信

2016.3.12 第28回日本小腸移植研究会（東京）

腸管延長術（STEP）施行後に多発小腸潰瘍

本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、嶋村剛、武富紹信

2016.3.17-19 第88回日本胃癌学会総会（別府）

Reduced port gastrectomy 100例の周術期成績の検討

川村秀樹、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

2016.3.19 日本消化器病学会北海道支部第18回教育講演会 (札幌)

炎症性腸疾患の外科治療

本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

2016.4.2 第6回東京・神奈川劇症肝炎研究会 (東京)

脳死肝移植後に肝機能障害が再燃・遷延したHAVによる劇症肝炎の1例

腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤了一、太田稔、岡田宏美、畑中佳奈子、山下健一郎、武富紹信、田中一成、姜貞憲、高橋和明、嶋村剛

2016.4.14-4.16 第116回日本外科学会定期学術集会 (大阪)

大量肝切除を伴う胆管・胆嚢癌手術の治療戦略と成績

蒲池浩文、敦賀陽介、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

局所進行膵癌に対するGemcitabine併用NACRTの有用性の検討
敦賀陽介、蒲池浩文、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

肝線維化が^{99m}Tc-GSAシンチグラフィに及ぼす影響

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、蒲池浩文、敦賀陽介、武富紹信発表

肝細胞癌切除症例における新規血清肝線維化マーカー M2BPGi 測定の有効性

横尾英樹、藤好真人、久野敦、後藤雅志、深井原、蒲池浩文、神山俊哉、是永匡紹、溝上雅史、成松久、武富紹信

顕微鏡的門脈侵襲を有する肝細胞癌に対する系統的切除の傾向スコアを用いた解析

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

Hydrogen Sulfide Augments Survival Signals in Warm Ischemia and Reperfusion of the Mouse Liver.

Shimada S, Fukai M, Wakayama K, Ishikawa T, Kobayashi N, Kimura T, Yamashita K, Kamiyama T, Shimamura T, Taketomi A, Todo S.

肝内胆管癌に対する外科切除、リンパ節郭清の妥当性

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

局所進行膵癌に対するGemcitabine併用NACRTの有用性の検討

敦賀陽介、蒲池浩文、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

中肝静脈再建を行い完全切除し得た転移性肝癌の2例

大淵佳祐、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、後藤了一、小林展大、河北一誠、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

Reduced port gastrectomy 100例の成績—従来の腹腔鏡下胃切除との短期成績の比較—

川村秀樹、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

術後QOLを重視した潰瘍性大腸炎に対するReduced Port Surgery

本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

高齢者大腸癌症例に対する外科治療戦略

下國達志、吉田雅、本間重紀、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

pT4大腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性

吉田雅、本間重紀、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

当科における肝移植後de novoドナー特異的抗HLA抗体に対する治療戦略

後藤了一、深作慶友、川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、太田稔、畑中佳奈子、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

生体肝移植における脂肪肝ドナーのダイエット効果の検討

藤居勇貴、川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

GV/SV ratio 35%以下のsmall graftで安全に肝移植を行うために
川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、後藤了一、高橋徹、太田稔、鈴木友己、神山俊哉、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

肝移植後肝細胞癌再発症例における再発後予後因子の検討

今泉健、腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

先天性門脈体循環シャントに対する治療戦略

本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、武富紹信

定型的なダイヤモンド型十二指腸十二指腸吻合が施行できなかった先天性十二指腸閉鎖症・狭窄症の3例

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、武富紹信

肝芽腫において異常メチル化で発現抑制されるPARP6の機能解析
湊雅嗣、本多昌平、宮城久之、檜山英三、武富紹信

臍腸瘻を合併した臍帯ヘルニアの一例

河北一誠、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、武富紹信

肝癌細胞株におけるuPAの発現変化に伴う浸潤能変化と糖鎖異常解析

高橋秀徳、神山俊哉、柿坂達彦、相山健、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、敦賀陽介、蒲池浩文、横尾英樹、西村紳一郎、武富紹信

ALDH1の低発現は肝外胆管癌および胆嚢癌の重要な予後因子である

松澤文彦、水上達三、蒲池浩文、三橋智子、敦賀陽介、畑中豊、神山俊哉、武富紹信

術前サルコペニアは胃癌切除後の短期成績に影響するか？

石黒友唯、崎浜秀康、吉田雅、下國達志、本間重紀、川村秀樹、武富紹信

担がん環境下で産生されるIL-6を標的とした新規大腸がん免疫治療の構築

豊島雄二郎、北村秀光、大野陽介、寺田聖、吉田雅、下國達志、本間重紀、崎浜秀康、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

低温酸素化状態における14-3-3 zetaによるエネルギー産生と細胞内シグナルの制御 ヒト尿管上皮細胞株 (HK2) を用いた検討

深井原、小林希、石川隆壽、梅本浩平、島田慎吾、若山顕治、大谷晋太郎、橋本咲月、藤好真人、山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

ラット肝冷保存再灌流における重水含有臓器保存液 (Dsol) の保護効果 Autophagyと細胞生存・死シグナルへの影響
梅本浩平、深井原、島田慎吾、石川隆壽、大谷晋太郎、橋本咲月、藤好真人、若山顕治、山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

2016.4.21-23 第102回日本消化器病学会総会 (東京)
BCLC Stage B、C症例に対する肝切除の意義
神山俊哉、若山顕治、折茂達也

2016.4.27 第20回札幌肝不全懇話会 (札幌)
HEVによる劇症肝炎治療中に、急性膵炎から下横隔動脈仮性瘤を発症した1例
腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

脳死肝移植後に肝機能障害が再燃・遷延したHAVによる劇症肝炎の1例
腰塚靖之、川村典生、財津雅昭、後藤一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.5.11 第25回KULDUS講演会、特別講演 (福岡)
肝臓外科領域におけるC型肝炎治療
武富紹信

2016.5.21 第70回手術手技研究会 (東京)
潰瘍性大腸炎に対するReduced Port Surgery
本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2016.5.24-26 第53回日本小児外科学会学術集会 (福岡)
膿瘍形成した肛門管重複症の1例
本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、奥村一慶、河北一誠、武富紹信

腸管延長術 (STEP) を施行2年後に多発小腸潰瘍による消化管出血をきたした1例
近藤享史、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、奥村一慶、河北一誠、武富紹信

Oncologic emergencyを呈した後腹膜悪性ラドイド腫瘍の1例
奥村一慶、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、武富紹信

網羅的DNAメチル化解析を用いた肝芽腫の遠隔転移因子の検索
湊雅嗣、本多昌平、宮城久之、新開真人、北河徳彦、田中水緒、田中祐吉、武富紹信

2016.6.2-4 第28回日本肝胆膵外科学会学術集会 (大阪)
Operative planning for major hepatectomy to prevent liver failure.
Taketomi A, Tsuruga Y, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Kakisaka T, Yokoo H, Kamachi H, Kamiyama T.

肝葉切除を伴う肝門部領域胆道系腫瘍における血行再建の手法と成績
蒲池浩文、敦賀陽介、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、後藤一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

局所進行膵癌に対するGemcitabine併用術前放射線化学療法の有用性の検討

敦賀陽介、蒲池浩文、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

巨大肝細胞癌に対する肝切除後の遠隔転移と予後の検討
若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

A significance of anatomical resection and predictive factors for hepatocellular carcinoma with microscopic portal vein invasion under 5cm in diameter
Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Tsuruga Y, Kamachi H, Taketomi A.

TACE、RFA後再発の肝細胞癌に対する肝切除症例の検討
折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

占拠部位 (肝門型、末梢型) からみた肝内胆管癌の予後因子解析
横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

局所進行膵癌に対するGemcitabine併用術前放射線化学療法の有用性の検討
敦賀陽介、蒲池浩文、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

2016.6.15-17 第41回日本外科系連合学会学術集会 (大阪)
3D画像支援システムによる下右肝静脈領域を評価した肝切除
横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

腹腔鏡下結腸切除中における術後鎮痛法
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、下國達志、崎浜秀康、高橋典彦、川村秀樹、武富紹信

2016.6.17 第38回日本血栓止血学会学術集会 (奈良)
プロテインS研究会シンポジウム「消化器外科領域におけるVTEの臨床的重要性」
武富紹信

2016.6.23 第16回岐阜肝臓外科研究会、特別講演 (岐阜)
肝細胞癌に対する分子標的治療～外科医はどう使いこなすか～
武富紹信

2016.6.25 第22回北海道内視鏡外科研究会 (札幌)
境界病変と診断された肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の検討
脇坂和貴、神山俊哉、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

当科における鏡視下手術教育プログラム
吉田雅、川村秀樹、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、武富紹信

進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の周術期成績の検討
渋谷一陽、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

2016.6.25 第27回北海道肝がん研究会 (札幌)
混合型肝癌切除症例の検討
脇坂和貴、神山俊哉、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

2016.7.1 第85回大腸癌研究会（大阪）

大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の治療成績
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

2016.7.1-2 第52回日本肝癌研究会（東京都）

BCLC Classification Stage Bのサブクラス分類に対する肝切除の意義

神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

顕微鏡的門脈侵襲を有する5cm未満肝細胞癌に対する系統的切除の意義と予測因子

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

肝門型・末梢型肝内胆管癌の臨床病理学的検討

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

NBNC肝細胞癌切除例における予後再発因子の検討

横尾英樹、神山俊哉、岡田尚樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

下大静脈/右心房腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する肝切除

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、永生高広、折茂達也、蒲池浩文、武富紹信

2016.7.2 第109回日本臨床外科学会北海道支部例会（札幌）

肝細胞癌における顕微鏡的門脈侵襲の予測因子と系統的肝切除の意義

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

境界病変と診断された肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の検討

脇坂和貴、神山俊哉、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

膵癌におけるNACRT後の治療効果と適切な切除範囲に関する検討

永生高広、蒲池浩文、折茂達也、敦賀陽介、坂本讓、島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信

進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の周術期成績の検討 臨床外科地方会

渋谷一陽、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

生体肝移植後の内ヘルニアにより小腸穿孔を発症した1例

中本裕紀、坂本讓、後藤了一、腰塚靖之、川村典生、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.7.6 第11回小児肝移植懇話会（旭川）

当科における小児生体肝移植後免疫抑制剤中止、減量症例の検討
後藤了一、財津雅昭、川村典生、腰塚靖之、山本真由美、柏浦愛美、太田稔、山下健一郎、嶋村剛

2016.7.7-8 第34回日本肝移植研究会（旭川）

脳死肝移植を増やすために今できること：北海道における臓器提供・移植医療の理解に向けた取り組み
嶋村剛、古川博之、藤堂省

肝細胞癌に対する生体肝移植：全国集計

嶋村剛

肝移植における免疫誘導

山下健一郎

肝移植後De novo悪性腫瘍に対するサーベイランスの有用性の検討

腰塚靖之、川村典生、後藤了一、太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

昏睡型急性肝不全に対して可搬型持続的オンライン血液透析濾過装置（HAYATE）を用いて意識覚醒を得た1例

太田稔、岡本花織、加藤伸彦、南昭子、川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、後藤了一、山下健一郎、嶋村剛

イメージング質量分析によるラット脂肪肝虚血再灌流障害の評価

橋本咲月、深井原、早坂孝宏、梅本浩平、大谷晋太郎、白澤憲典、中藪拓哉、島田慎吾、恵淑萍、千葉仁志、山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

2016.7.7-9 第51回日本小児腎臓病学会学術集会（名古屋）

肥厚性幽門狭窄症を合併した先天性ネフローゼ症候群の一例
高橋俊行、岡本孝之、佐藤泰征、山崎健史、有賀正、宮城久之、本多昌平

2016.7.14-16 第71回日本消化器外科学会総会（徳島）

肝前・後区域間離断を伴う胆道再建手術におけるS8c遺残膿瘍の原因と対策

蒲池浩文、敦賀陽介、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

経皮経肝的門脈塞栓術PTPE後の肝体積増大予測因子の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

胆管内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝切除症例の検討～特に閉塞性黄疸をきたした症例を中心に

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

下大静脈/右心房腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する肝切除を中心とした集学的治療

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、敦賀陽介、武富紹信

肝内胆管癌における術後再発予防に対する戦略の変遷と展望

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

当科における胃全摘後食道空腸吻合の方法と成績—Linear staplerを用いた再建の優位性について—

川村秀樹、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

大学医局制度を活用した内視鏡外科技術認定医取得を目指した教育プログラム

本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

大腸癌原発巣におけるFDG-PET/CTのSUVmax・SUVglucの検討

下國達志、本間重紀、吉田雅、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

腹腔鏡下結腸切除術における術後鎮痛法の検討
吉田雅、本間重紀、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、武富紹信

個別指導による内視鏡外科手術修練の効果と技術認定取得後の技術向上に関する検討
市川伸樹、本間重紀、石川倫啓、鈴木崇史、辻健志、上泉洋、大平将史、数井啓蔵、脇坂和貴、武富紹信

生体肝移植における制御性T細胞を用いた免疫寛容誘導法の臨床試験
山下健一郎、財津雅昭、後藤了一、長津明久、鈴木友己、嶋村剛、神山俊哉、場集田寿、奥村康、藤堂省

肝移植後de novoドナー特異的HLA抗体に対するリツキサン投与の治療効果
後藤了一、深作慶友、川村典生、財津雅昭、腰塚靖之、太田稔、畑中佳奈子、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

選択的CD28副刺激遮断によるヒト化マウスモデルにおける皮膚移植の検討
Zaitso M, Issa Fadi, Hester Joanna, Milward Kate, Vanhove Bernard, Wood Kathryn

当院の生体肝移植ドナー手術成績とドナー手術侵襲の早期グラフ機能・移植成績に及ぼす影響
川村典生、神山俊哉、後藤了一、腰塚靖之、財津雅昭、高橋徹、太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.7.22 有田地区医師会学術講演会（伊万里）
肝臓外科領域におけるC型肝炎治療
武富紹信

2016.7.27-29 第21回日本癌免疫学会学術総会（大阪）
IL-6による免疫抑制メカニズムの解明と新規大腸がん肝転移治療への応用
豊島雄二郎、大野陽介、項慧慧、寺田聖、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信、北村秀光

2016.8.19-20 第43回日本膵切研究会（東京）
膵癌におけるNACRT後の適切なSMA神経叢郭清範囲に関する検討
永生高広、蒲池浩文、敦賀陽介、田中友香、脇坂和貴、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信

2016.8.20 第18回北海道肝イメージ研究会（札幌）
術前診断が困難であった限局性結節性過形成の1例
脇坂和貴、神山俊哉、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

2016.9.3 第8回血液疾患免疫療法学会学術総会（札幌）
IL-6に関連したマイクロRNAの新規機能と担がん生体におけるバイオマーカーとしての有用性
豊島雄二郎、大野陽介、大竹淳矢、寺田聖、項慧慧、岡田尚樹、木井修平、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信、北村秀光

2016.9.3 第95回日本小児外科学会北海道地方会（札幌）
臍静脈と左胃静脈を用いたmeso-Rex Bypassを施行した肝外門脈閉塞症の1例
柴田賢吾、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、神山俊哉、嶋村剛、後藤了一、田中友香、武富紹信

MMIHSの6歳女児例に対する外科的治療戦略の検討
湊雅嗣、本多昌平、宮城久之、岡田忠雄、武富紹信

2016.9.3-4 第119回日本消化器病学会北海道支部例会（札幌）
膵癌におけるNACRT後の治療効果と適切なSMA神経叢郭清範囲に関する検討
永生高広、蒲池浩文、折茂達也、敦賀陽介、田中友香、脇坂和貴、島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信

切除不能転移性結腸直腸癌における原発巣切除の意義
市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、渋谷一陽、川村秀樹、川本泰之、村中徹人、原田一顕、中積宏之、結城敏志、小松嘉人、坂本直哉、武富紹信

2016.9.12 平成28年度ライオンズクラブ国際協会331-A地区献血推進セミナー（札幌）
善意の提供に支えられる医療：輸血・移植医療
嶋村剛

2016.9.15-16 第27回日本消化器癌発生学会総会（鹿児島）
Preoperative Detection of Circulating Tumor Cells and Disseminated Tumor Cells in Patients with Colorectal Carcinoma
石黒友唯、崎浜秀康、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、武富紹信

IL-6による免疫抑制メカニズムの解明と新規大腸がん肝転移治療への応用
豊島雄二郎、北村秀光、大野陽介、項慧慧、寺田聖、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

2016.9.16-17 第35回Microwave Surgery研究会（熊本）
大腸癌肝転移症例に対する肝切除と併せた術中マイクロ波腫瘍凝固療法（MCT）の有用性
島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

2016.9.17 第22回北海道肝移植適応研究会（札幌）
肝移植後の小児に対するハイゼントラ®の使用経験
腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

当院での重症HEV肝炎3例の経験：肝移植実施1例と非実施2例の検討
川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、後藤了一、岡本花織、太田稔、小川浩司、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.9.29-10.1 第52回日本移植学会（東京）
肝移植の組織適合検査 HLAタイピングとリンパ球クロスマッチ（ワークショップ）
後藤了一、腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

当院における肝移植後腸閉塞症例の検討
坂本讓、後藤了一、中本裕紀、阪敏聖、腰塚靖之、川村典生、太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.10.6-8 第75回日本癌学会学術総会（横浜）
Analysis of N-glycan alternation and invasiveness associated with u-PA expression in hepatocellular carcinoma cell-lines

Takahashi H, Kamiyama T, Kakisaka T, Aiyama T, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Kamachi H, Yokoo H, Nishimura S, Taketomi A.

Detection of circulating tumor cell (CTC) focusing epithelial-mesenchymal transition (EMT) in gastric cancer
Ishiguro Y, Sakihama H, Ohno Y, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Kawamura H, Taketomi A.

IL-6 suppresses Type-1 immune responses in tumor microenvironment and promotes liver metastasis of colorectal cancer

Toyoshima Y, Ohno Y, Xiang H, Terada S, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A, Kitamura H.

2016.10.7 第10回Acte Care and Emergency Surgery (ACES) 研究会、特別講演

肝臓外科領域におけるVTE
武富紹信

2016.10.8 第6回TALTフォーラム (Trans-ARIAKE Liver Transplantation Forum) (熊本)

北海道における肝移植：過去・現在・未来
嶋村剛

2016.10.9 第35回日本心臓移植研究会 (札幌)

臓器移植における細胞治療を用いた免疫寛容誘導
山下健一郎

2016.10.12 標茶町講演会、特別講演 (標茶)

知っていますか？メタボで肝臓が悪くなる
武富紹信

2016.10.15 第11回膵癌術前治療研究会 (仙台)

膵癌におけるNACRT後の治療効果と適切なSMA神経叢郭清範囲に関する検討

永生高広、蒲池浩文、折茂達也、敦賀陽介、坂本讓、島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信

2016.10.15 第37回日本大腸肛門病学会北海道地方会 (札幌)

広汎子宮全摘術後に外腸骨動脈が起点となって生じた絞扼性イレウスの2例

杉山昂、本間重紀、市川伸樹、渋谷一陽、大野陽介、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2016.10.22-24 第25回日本組織適合性学会総会 (札幌)

肝移植における免疫寛容誘導の試み
山下健一郎

2016.10.27 第15回LPEC研究会 (東京)

LPEC施行3ヵ月後に対側再発した1幼児例
宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、武富紹信

2016.10.29 第105回北海道外科学会 (札幌)

門脈分岐奇形を伴った肝内胆管癌の1例
田中友香、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、脇坂和貴、坂本讓、蒲池浩文、武富紹信

当科におけるHPDの周術期管理と成績

坂本讓、蒲池浩文、折茂達也、永生高広、若山顕治、島田慎吾、横尾英樹、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

完全内臓逆位を伴う進行胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘術
柴田賢吾、川村秀樹、渋谷一陽、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

肝移植における工夫—門脈—体循環シャントを使用した1例
阪田敏聖、後藤了一、坂本讓、中本裕紀、腰塚靖之、川村典生、太田稔、岡本花織、千葉裕基、鈴木友己、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2016.11.1 函館市外科会学術講演会、特別講演 (函館)

進行肝癌に対する治療戦略
武富紹信

2016.11.3-6 第14回日本消化器外科学会大会 (神戸)

肝門型・末梢型肝内胆管癌の臨床病理学的検討
折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富紹信

胃GISTに対する腹腔鏡下胃部分切除の方法と成績

川村秀樹、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

2016.11.12 第33回北海道スーマリハビリテーション研究会 (札幌)

根治的切除9年後に孤立性腋窩リンパ節転移を来した結腸人工肛門部癌の一例

南波宏征、本間重紀、吉田雅、今泉健、大野陽介、市川伸樹、高橋典彦、川村秀樹、武富紹信

2016.11.18-19 第71回日本大腸肛門病学会学術集会 (三重)

cT4結腸癌に対する腹腔鏡下手術の短期成績
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

切除不能転移性病変を有するステージIV大腸癌における原発巣切除の意義

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、渋谷一陽、川村秀樹、川本泰之、村中徹人、原田一顕、中積宏之、結城敏志、小松嘉人、坂本直哉、武富紹信

2016.11.23 第10回肝臓内視鏡外科研究会 (東京)

肝頭背領域 (S7/8) に対する腹腔鏡下肝部分切除における工夫
坂本讓、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

2016.11.23 北海道移植医療推進協議会主催 移植者のつどい 2016 (札幌)

移植医のないしよばなし
嶋村剛

2016.11.24-26 第78回日本臨床外科学会総会 (品川)

当科におけるHPDの周術期管理と成績
蒲池浩文、折茂達也、永生高広、若山顕治、島田慎吾、横尾英樹、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

肝門型、末梢型肝内胆管癌のリンパ節郭清の意義

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

下大静脈、右心房腫瘍栓を伴った肝細胞癌に対する治療戦略

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、永生高広、折茂達也、蒲池浩文、武富紹信

PTPE後残肝体積と非塞栓門脈血流の関連性の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

肝内胆管癌に対するリンパ節郭清の意義—新旧規約の比較による検討

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

境界病変と診断された肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の検討
脇坂和貴、神山俊哉、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

腹腔鏡下大腸切除における経口経静脈併用予防的抗生剤投与のSSI軽減に対する効果

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、渋谷一陽、川村秀樹、数井啓蔵、上泉洋、武富紹信

大腸癌の術前深達度診断における腹部超音波検査の有用性についての検討

大野陽介、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、渋谷一陽、川村秀樹、武富紹信

2016.11.26-27 第43回日本臓器保存生物医学会学術集会(八王子)

臓器灌流法の先にあるべき技術の開発

深井原、島田慎吾、小林希、梅本浩平、大谷晋太郎、中藪拓哉、三野和宏、山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

2016.12.3 第110回日本臨床外科学会北海道支部例会(札幌)

異時性4重複癌(直腸・肺・胃・肝)であった肝内胆管癌の1切除例

阪田敏聖、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、坂本讓、蒲池浩文、武富紹信、中智昭、三橋智子

上行結腸癌及び胆石症術後に腹膜再発の鑑別が困難であった腹腔内膿瘍の1例

中本裕紀、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、大野陽介、杉山昂、川村秀樹、武富紹信

肝癌に対する肝移植～肝癌の再発と再発後の予後不良因子についての検討

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、太田稔、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信、嶋村剛

本邦初のE型遅発性肝不全に対する脳死肝移植

渋谷一陽、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、後藤了一、武富紹信、山下健一郎、嶋村剛

2016.12.5-7 第45回日本免疫学会学術総会(沖縄)

IL-6 causes dysfunction of antitumor immunity and promotes tumorigenesis in a liver metastasis model using colorectal cancer cells

Toyoshima Y, Okada N, Xiang H, Terada S, Kii S, Ohno Y, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A, Kitamura H.

STAT1-mediated signaling cascade is associated with inflammatory bowel disease

Kii S, Toyoshima Y, Okada N, Xiang H, Terada S, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A, Kitamura H.

2016.12.8-10 第29回日本内視鏡外科学会総会(横浜)

Reduced port gastrectomyにおける当科の工夫

川村秀樹、渋谷一陽、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

肥満症例に対する腹腔鏡下大腸切除術の治療成績(BMIによる分類)

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

技術認定取得後の助手力向上に関する検討

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、渋谷一陽、川村秀樹、上泉洋、武富紹信

当科における他臓器合併切除を要した局所進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術のまとめ

大野陽介、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、渋谷一陽、川村秀樹、武富紹信

完全内臓逆位を伴う進行胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘術

渋谷一陽、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

腹腔鏡下に切除したHIV感染症を伴う小腸癌の1例

柴田賢吾、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

2016.12.17 第58回日本小児血液・がん学会学術集会(東京)

小腸多発性myeloid sarcomaにより腸重積およびイレウスを発症した1例

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、井口晶裕、長祐子、大島淳二郎、杉山未奈子、有賀正、武富紹信

《学会発表(国際)》

2016.3.1-3 New Key Opinion Leaders Meeting (Bangkok, Thailand)

The Operational Tolerance with a Regulatory Cell-Based Cell Therapy in Living Liver Transplantation.
Goto R.

2016.3.25 Samsung Medical Center Organ Transplantation Symposium (Seoul, Korea)

The role of regulatory T cells in liver transplantation tolerance. "Invited speaker".
Yamashita K.

2016.4.4-6 22th International Liver Transplant Society annual international congress (Seoul, Korea)

Optimizing small for sized graft: Our experience in Living Donor Liver Transplantation using GV/SV less than 35% grafts

Kawamura N, Zaitu M, Koshizuka Y, Goto R, Suzuki T, Kamiyama T, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

2016.4.8-9 Transplantation Science Symposium (TSS) Asian Regional Meeting 2016 (Tokyo)

The role of regulatory T cells in liver transplantation tolerance
Yamashita K.

The current strategies for preexisting donor specific antibodies in liver transplantation.

Goto R, Koshizuka Y, Kawamura N, Zaitu M, Ota M,

Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

A proteasome inhibitor, bortezomib prevents pancreatic islet graft loss after transplantation
Ono H, Asahi Y, Yoshida T, Koshizuka Y, Watanabe M, Tomaru U, Kobayashi N, Emoto S, Fukai M, Shimamura T, Taketomi A, Todo S, Yamashita K.

2016.4.24-28 The 49th Pacific Association of Pediatric Surgeons (Hawaii, USA)

Persistent gastrostomy site infection in patients with laparoscopic and open Nissen fundoplication
Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Taketomi A.

2016.5.11-13 XXVIII Congress of the Scandinavian Transplantation Society (Stockholm, Sweden)

ARA 290, A Non-Hematopoietic Erythropoietin Analogue, Protects Pancreatic Islets. Inhibits Kupffer Cells and Dendritic Cells Activation Result To Improve Islet Allografts Engraftment In Pancreatic Islet Transplantation.

Watanabe M, Ming Han Yao, Jennifer Jager, Sune sun, Helen Zemack, Anthony Cerami, Michael Brines, Myriam Aouadi, Torbjörn Lundgren and Makiko Kumagai-Braesch.

2016.5.24-26 The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons (AAPS) (Fukuoka)

DNA methylation related to chemoresistance in hepatoblastomas.

Honda S, Minato M, Miyagi H, Kawakita I, Okumura K, Hiyama E, Taketomi A.

Retroperitoneal lipoblastoma: a case report.

Miyagi H, Honda S, Minato M, Kawakita I, Okumura K, Taketomi A.

A case report of anopenile urethral fistula.

Kawakita I, Miyagi H, Honda S, Minato M, Okumura K, Taketomi A.

2016.6.11-15 American Transplant Congress (Boston, USA)

ARA 290, A Non-Hematopoietic Erythropoietin Analogue, Protects Pancreatic Islets, Inhibits Kupffer Cells and Dendritic Cells Activation Result To Improve Islet Allografts Engraftment In Pancreatic Islet Transplantation.
Watanabe M, Ming Han Yao, Jennifer Jager, Sune sun, Helen Zemack, Anthony Cerami, Michael Brines, Myriam Aouadi, Torbjörn Lundgren and Makiko Kumagai-Braesch.

2016.8.3 The international Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists Continuing Medical Education: Advanced Post-Graduate Course in Sendai (Sendai)

The proper resection area for superior mesenteric artery nerve plexuses in pancreatic cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy.

Einama T, Kamachi H, Tsuruga Y, Tanaka Y, Wakizaka K, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Yokoo H, Kamiyama T, Mitsuhashi T, Taketomi A.

Strategy of laparoscopic partial resection for gastric gastrointestinal stromal tumors according to the growth pattern.

Ichikawa N, Kawamura H, Yoshida T, Ohno Y, Shibuya K, Homma S, Taketomi A.

The efficacy of our surveillance program on detection of de novo malignancies following liver transplantation

Koshizuka Y, Kawamura N, Zaitzu M, Goto R, Watanabe M, Ota M, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

Factors associated with risk of persistent gastrostomy site infection following laparoscopic or open Nissen fundoplication

Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Taketomi A.

2016.8.18-23 26th international congress of The Transplantation Society (Hong Kong)

A clinical trial of cell therapy-based tolerance induction in living donor liver transplantation: Long-term follow-up results.

Yamashita K, Goto R, Zaitzu M, Nagatsu A, Oura T, Watanabe M, Aoyagi T, Suzuki T, Shimamura T, Kamiyama T, Sato N, Sugita J, Hatanaka K, Bashuda H, Okumura K, Todo S.

The impact of preformed donor-specific antibodies in living donor liver transplantation depending on graft volume.

Goto R, Koshizuka Y, Kawamura N, Zaitzu M, Ota M, Kamiyama T, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

Selective blockade of CD28 costimulation prevented human allo-skin graft rejection in a humanised mouse model
Zaitzu M, Issa F, Hester J, Wood K.

A non-hematopoietic erythropoietin analogue, ARA 290, prolonged allogeneic islet graft survival in a mouse model.

Watanabe M, Ming Han Yao, Bo-Göran Ericzon, Anthony Cerami, Michael Brines, Torbjörn Lundgren, Makiko Kumagai-Braesch.

Ex vivo generation of alloantigen-specific immunomodulatory cells with co-stimulation blockade: do we need Treg purification for cell therapy?

Watanabe M, Ming Han Yao, Makiko Kumagai-Braesch, Dennis Andersson, Bo-Göran Ericzon.

2016.8.27-28 7th Japanese-Mongolian International Joint Symposium on Surgical Treatment of Digestive Tract Cancers. Invited Lecture (Ulaanbaatar, Mongolia)

Liver transplantation for hepatocellular carcinoma in Japan
Taketomi A.

Image guide for hepatic surgery by Indocyanine Green fluorescence imaging navigation.

Yokoo H, Kamiyama T, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Shimada S, Kamachi H, Taketomi A.

Analysis of alternation of N-glycan and invasiveness associated with u-PA expression in hepatocellular carcinoma cell-lines

Takahashi H, Kamiyama T, Kakisaka T, Aiyama T, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Kamachi H, Yokoo H, Nishimura S, Taketomi A.

2016.9.9-11 International Liver Cancer Association 2016 (Vancouver, Canada)

Efficacy of Sorafenib for extrahepatic recurrence of hepatocellular carcinoma after liver resection

Yokoo Y, Kamiyama T, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Shimada S, Kamachi H, Taketomi A.

Analysis of alternation of N-glycan and invasiveness associated with u-PA expression in hepatocellular carcinoma cell-lines

Takahashi H, Kamiyama T, Kakisaka T, Aiyama T, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Kamachi H, Yokoo H, Nishimura S, Taketomi A.

2016.9.22 4th International Conference of Federation of Asian Clinical Oncology (FACO). Invited Lecture (Xiamen, China)

Current surgical treatment for hepatocellular carcinoma in Japan.

Taketomi A.

2016.10.23-26 40th World congress of the international college of surgeon (Kyoto)

Possibility of pre-operative monocyte count as recurrence prediction biomarker in StageII/III colorectal cancer.

Ohno Y, Homma S, Yoshida T, Ichikawa N, Kawamura H, Taketomi A.

Review of Living Donor Hepatectomy at Hokkaido University Hospital: Donor outcome and Effect on Graft Function and Survival.

Kawamura N, Kamiyama T, Goto R, Koshizuka Y, Zaitzu M, Takahashi T, Ota M, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma with Bile Duct Tumor Thrombus.

Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A.

The proper resection area for superior mesenteric artery nerve plexuses in pancreatic cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy.

Einama T, Kamachi H, Orimo T, Tsuruga Y, Sakamoto Y, Shimada S, Wakayama K, Yokoo H, Kamiyama T, Mitsuhashi T, Taketomi A.

Presacral abscess formation as a presenting sign of anal canal duplication: a case report

Minato M, Honda S, Miyagi H, Okada H, Takakuwa E and Taketomi A.

2016.10.29 Asian Transplantation Week 2016, The 11th Korea Japan Transplantation Forum (Incheon, Korea)

The efficacy of our surveillance program on early detection of de novo malignancies and prognosis following liver transplantation

Koshizuka Y, Kawamura N, Zaitzu M, Goto R, Watanabe

M, Ota M, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

The impact of preformed donor-specific antibodies in short-term graft survival of adult living donor liver transplantation.

Goto R, Koshizuka Y, Kawamura N, Zaitzu M, Ota M, Kamiyama T, Yamashita K, Taketomi A, Shimamura T.

2016.11.9-12 The 15th World congress of endoscopic surgery/ ELSA 2016 (Suzhou, China)

Tutorial mentoring for laparoscopic colorectal surgery is effective in a general hospital.

Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Shibuya K, Shibata K, Tanaka Y, Kawamura H, Taketomi A.

Laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer with situs inversus totalis

Shibata K, Kawamura H, Ichikawa N, Yoshida T, Ohno Y, Shibuya K, Homma S, Taketomi A.

Successful excision of retrorectal epidermoid cysts by laparoscopic approach

Tanaka Y, Homma S, Ichikawa N, Yoshida T, Ohno Y, Shibuya K, Shibata K, Kawamura H, Taketomi A.

2016.11.11-15 AASLD Liver Meeting 2016 (Boston, USA)

Significant of Hepatectomy for Stage B and C Hepatocellular Carcinoma in the BCLC Classification.

Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Yamashita K, Shimamura T, Todo S, Taketomi A.

Portal venous flow measured by ultrasound sonography after percutaneous transhepatic portal vein embolization is useful for prediction of hepatic hypertrophy.

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Kamachi H, Taketomi A.

2016年論文一覧

《論文発表》

Kamiyama T, Kakisaka T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Kamachi H, Tsuruga Y, Taketomi A.

Anatomical Hepatectomy Using Indocyanine Green Fluorescent Imaging and Needle-Guiding Technique. ICG Fluorescence Imaging and Navigation Surgery. 305-313

Shimada S, Ohtsubo S, Kusano M.

Microscopic Findings Fluorescence of Liver Cancers ICG Fluorescence Imaging and Navigation Surgery. 315-324

Homma S, Kawamata F, Shibasaki S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.

Does the reduced port laparoscopic surgery for medically uncontrolled ulcerative colitis do more harm than good ?

Asian J Endosc Surg. 9(1): 24-31, 2016.2

Ohno Y, Kitamura H, Takahashi N, Ohtake J, Kaneumi

S. Sumida K, Homma S, Kawamura H, Minagawa N, Shibasaki S, Taketomi A.
IL-6 down-regulates HLA class II expression and IL-12 production of human dendritic cells to impair activation of antigen-specific CD4+ T cells
Cancer Immunol Immunother. 65(2): 193-204, 2016.2

Watanabe M, Torbjörn Lundgren, Yu Saito, Anthony Cerami, Michael Brines, Claes-Göran Östenson, and Makiko Kumagai-Braesch
A non-hematopoietic erythropoietin analogue, ARA 290, inhibits macrophage activation and prevents damage to transplanted islets
Transplantation. 100(3): 554-562, 2016.3

Ichikawa N, Yamashita K, Funakoshi T, Ichihara S, Fukai M, Ogura M, Kobayashi N, Zaito M, Yoshida T, Shibasaki S, Koshizuka Y, Tsunetoshi Y, Sato M, Einama T, Ozaki M, Umezawa K, Suzuki T, Todo S.
Novel anti-inflammatory agent 3-[(dodecylthiocarbonyl)-methyl]-glutarimide ameliorates murine models of inflammatory bowel disease
Inflamm Res. 65(3): 245-60, 2016.3

Asahi Y, Kamiyama T, Homma S, Hatanaka KC, Yokoo H, Nakagawa T, Kamachi K, Nakanishi K, Tahara M, Kakisaka T, Wakayama K, Todo S, Taketomi A.
Resection of liver metastasis derived from alpha-fetoprotein-producing gastric cancer—report of 4 cases
International Cancer Conference Journal 5(2): 98-103, 2016.4

Taketomi A.
Development and future directions of antiangiogenic therapy in hepatocellular carcinoma.
Int J Clin Oncol. 21(2): 205, 2016.4

Taketomi A.
Clinical trials of antiangiogenic therapy for hepatocellular carcinoma.
Int J Clin Oncol. 21(2): 213-8, 2016.4

Fukai M, Kobayashi N, Ishikawa T, Wakayama K, Shimada S, Umemoto K, Ohtani S, Fujiyoshi M, Yamashita K, Shimamura T, and Taketomi A.
14-3-3 ζ -mediated stimulation of oxidative phosphorylation exacerbates oxidative damage under hypothermic oxygenated conditions in human renal tubular cells (HK-2).
Transplant Proc. 48(4): 1288-91, 2016.5

Tsuruga Y, Kamiyama T, Kamachi H, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Kakisaka T, Yokoo H, Taketomi A.
Significance of functional hepatic resection rate calculated using 3D CT/ (99m) Tc-galactosyl human serum albumin single-photon emission computed tomography fusion imaging.
World J Gastroenterol. 22(17): 4373-9, 2016.5

Einama T, Kawamata F, Kamachi H, Nishihara H, Homma S, Matsuzawa F, Mizukami T, Konishi Y, Tahara M,

Kamiyama T, Hino O, Taketomi A and Todo S.
Clinical impacts of mesothelin expression in gastrointestinal carcinomas
World Journal of Gastrointestinal Pathophysiology. 7(2): 218-22, 2016.5

Honda S, Minato M, Suzuki H, Fujiyoshi M, Miyagi H, Haruta M, Kaneko Y, Hatanaka KC, Hiyama E, Kamijo T, Okada T, Taketomi A.
Clinical prognostic value of DNA methylation in hepatoblastoma: Four novel tumor suppressor candidates.
Cancer Sci. 107: 812-819, 2016.6

Shibasaki S, Homma S, Yoshida T, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.
Epidermal Sutureless Closure of the Umbilical Base Following Laparoscopic Colectomy for Colon Cancer
Indian J Surg. 78(3): 203-208, 2016.6

Baba M, Takahashi M, Yamashiro K, Yokoo H, Fukai M, Sato M, Hosoda M, Kamiyama T, Taketomi A, Yamashita H.
Strong cytoplasmic expression of NF- κ B/p65 correlates with a good prognosis in patients with triple-negative breast cancer.
Surg Today. 46(7): 843-51, 2016.7

Shoji H, Yoshio S, Mano Y, Kumagai E, Sugiyama M, Korenaga M, Arai T, Itokawa N, Atsukawa M, Aikata H, Hyogo H, Chayama K, Ohashi T, Ito K, Yoneda M, Nozaki Y, Kawaguchi T, Torimura T, Abe M, Hiasa Y, Fukai M, Kamiyama T, Taketomi A, Mizokami M, Kanto T.
Interleukin-34 as a fibroblast-derived marker of liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.
Sci Rep. 1; 6: 28814, 2016.7

Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Tsuruga Y, Kamachi H, Taketomi A.
Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma with Bile Duct Tumor Thrombus, Including Cases with Obstructive Jaundice.
Ann Surg Oncol. 23(8): 2627-34, 2016.8

Fujii Y, Homma S, Yoshida T, Taketomi A.
Jejunal intussusception caused by metastasis of a giant cell carcinoma of the lung.
BMJ Case Reports 2016.8

Watanabe M, Louise Hagbard, Helene Johansson, Helen Zemack, Carl Jorns, Meng Li, and Ewa Ellis.
Maintenance of hepatic functions in primary human hepatocytes cultured on xeno-free and chemical defined human recombinant laminins
PLoS One. 11(9): e0161383, 2016.9

Shibasaki S, Kawamura H, Homma S, Yoshida T, Takahashi S, Takahashi M, Takahashi N, Taketomi A.
A Comparison Between Fentanyl Plus Celecoxib And Epidural Anesthesia for Postoperative Pain Management Following Laparoscopic Gastrectomy
Surg Today. 46(10): 1209-1216, 2016.10

Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Orimo T, Shimada S, Tsuruga Y, Kamachi H, Taketomi A. Our technique of preceding diaphragm resection and partial mobilization of the hepatic right lobe using a vessel sealing device (LigaSure™) for huge hepatic tumors with diaphragm invasion. *Surgery Today*. 46(10): 1224-9, 2016.10

Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Hatanaka KC, Taketomi A. Impact of umbilical polyp resection: A report and literature review. *Afr J Pediatr Surg*. 13: 196-198, 2016.10-12

Shibuya K, Einama T, Abe H, Kanazawa R, Suzuki T, Matsuzawa F, Lee Wee K, Kaga T, Tamura E, Taketomi A, Kyuno K. Sonazoid can help visualize the intraductal spread of breast cancer. *Am Surg*. 82(12): 352-354, 2016.12.1

Yokoo H, Miyata H, Konno H, Taketomi A, Kakisaka T, Hirahara N, Wakabayashi G, Gotoh M, Mori M. Models predicting the risks of six life-threatening morbidities and bile leakage in 14, 970 hepatectomy patients registered in the National Clinical Database of Japan. *Medicine (Baltimore)*. 95(49): e5466, 2016.12

Shimada S, Wakayama K, Fukai M, Shimamura T, Ishikawa T, Fukumori D, Shibata M, Yamashita K, Kimura T, Todo S, Ohsawa I, Taketomi A. Hydrogen gas ameliorates hepatic reperfusion injury after prolonged cold preservation in isolated perfused rat liver. *Artif Organs*. 40(12): 1128-1136, 2016.12

Matsuzawa F, Homma S, Yoshida T, Shibasaki S, Minagawa N, Shimokuni T, Sakihama H, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A. Successful Treatment of Rectovaginal Fistula and Rectal Stenosis due to Perianal Crohn's Disease by Dual-port Laparoscopic Abdominoperineal Resection: a report of two cases *Surgical Case Reports*. 2(1): 1-6, 2016.12

Imaizumi K, Homma S, Yoshida T, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Kawamura H, Takakuwa E and Taketomi A. Solitary left axillary lymph node metastasis after curative resection of carcinoma at the colostomy site: a case report *Surgical Case Reports*. 2(1): 99, 2016.12

Watanabe M, Saito Y, Jesper Wallmo, Takahashi T, Randa A Hadi Diab, Ming Han Yao, Michael Brines, Anthony Cerami, Claes-Goran Ostenson, Torbjorn Lundgren, and Makiko Kumagai-Braesch. An engineered Innate Repair Receptor agonist, ARA 290, protects rat islets from cytokine-induced apoptosis *J Diabetes Metab*. 7: 708, 2016.

Kawamura H, Shibasaki S, Yoshida T, Shimokuni T, Sakihama H, Homma S, Takahashi M, Taketomi A. The feasibility of laparoscopic gastrectomy for remnant gastric cancer *International Surgery*, in press.

Kawamura H, Yoshida T, Ohno Y, Ichikawa N, Homma S, Taketomi A. Advanced technique of reduced-port laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer *Annals of Laparoscopic and Endoscopic Surgery*, in press.

Yoshida T, Kawamura H, Homma S, Shibasaki S, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Taketomi A. Six cases of simultaneous reduced port laparoscopic surgery for synchronous gastric and colorectal cancer. *Int Surg*, in press.

Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A. Huge Hepatocellular Carcinoma Greater than 10 cm in Diameter Worsens Prognosis by Causing Distant Recurrence after Curative Resection. *J Surg Oncol*. In press.

Honda S, Minato M, Miyagi H, Okada H, Taketomi A. Anal canal duplication presenting with abscess formation. *Pediatrics International*, in press.

Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Taketomi A. Factors associated with the risk of persistent gastrostomy site infection following laparoscopic or open Nissen fundoplication. *Afr J Pediatr Surg*, in press.

Yoshida T, Homma S, Shibasaki S, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Sakihama H, Taketomi A. Postoperative analgesia using fentanyl plus celecoxib versus epidural anesthesia after laparoscopic colon resection *Surg Today*. [Epub ahead of print] 2016.5

Ichikawa N, Homma S, Nakanishi K, Kazui K, Kashiwakura S, Ohira M, Tsuji T, Suzuki T, Ishikawa T, Taketomi A. Safety of Laparoscopic Colorectal Resection in Patients With Severe Comorbidities. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech*. [Epub ahead of print] 2016.11

柏倉さゆり、本間重紀、柴崎晋、吉田雅、川村秀樹、武富紹信
梅の種子嵌頓によりイレウスを発症した直腸癌の1例
日本外科系連合学会誌 41(1): 89-93, 2016.2

蒲池浩文、敦賀陽介、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、柿坂達彦、田原宗徳、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信
【肝門部胆管癌に対する手術適応の限界】肝門部胆管癌左葉系切除におけるTransparenchymal glissonian approach (TGA) による手術限界 (解説/特集)
癌の臨床 (0021-4949) 61(6): 403-408, 2016.2

嶋村剛、古川博之、藤堂省

北海道の地域連携からドナー獲得への取り組みは成功したのか
肝・胆・膵 72(3): 453-461, 2016.3

川村秀樹、本間重紀、吉田雅、柴崎晋、高橋典彦、武富紹信

Reduced port surgeryによる胃癌・大腸癌同時切除6例の経験
手術 Vol 70: 695-700, 2016.4

大平将史、本間重紀、柴崎晋、吉田雅、皆川のぞみ、川村秀樹、
高橋典彦、武富紹信

腸重積を伴う大腸癌に対し整復せずに待期的腹腔鏡下切除が可能
であった3例

日本消化器外科学会雑誌 49(4): 350-359, 2016.4

永生高広、阿部厚憲、鈴木麻由、志智俊介、松井博紀、金沢亮、
渋谷一陽、鈴木崇史、松澤文彦、濱口純、許理威、橋本卓、仲地耕平、
沼田泰尚、那須野央、須藤豪太、堀内努、田村悦哉、及能健一

当院における肝切除

帯広協会病院医誌 1: 21-28, 2016.5

小林展大、神山俊哉、折茂達也、岡田宏美、横尾英樹、武富紹信

腺癌を合併した難治性感染を伴う多発性肝嚢胞の1例

日本臨床外科学会雑誌 77(5): 1207-1211, 2016.5

大淵佳祐、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、武富紹信
パッチ再建を用いて切除した中肝静脈浸潤を伴う大腸癌肝転移の
2例

日本臨床外科学会雑誌 77(5): 1212-1216, 2016.5

坂本聡大、蒲池浩文、敦賀陽介、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、
武富紹信

胆嚢摘出から26年後に発症した遺残胆嚢管癌の1例

日本臨床外科学会雑誌 77(6): 1529-1534, 2016.6

柴田泰洋、細田充主、山本貢、市之川一臣、石田直子、武富紹信、
山下啓子

術前内分泌療法で病理学的完全奏効となった閉経後乳癌の1例

北海道外科雑誌 (0288-7509) 61(1): 62-66, 2016.6

深井原、島田慎吾、小林希、石川隆壽、梅本浩平、大谷晋太郎、
山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

低音酸化状態におけるタンパク機能制御

Organ Biology 23(2): 173-179, 2016.7

太田拓児、柴崎晋、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、清水亜衣、畑
中佳奈子、武富紹信

無症候性パラガングリオーマの1例

日本臨床外科学会雑誌 第77(7): 1831-1836, 2016.7

武富紹信

【分子標的薬を用いた周術期治療】肝がんに対する分子標的薬を
用いた外科周術期治療の現状 (解説/特集)

がん分子標的治療 (1347-6955) 14(2): 205-209, 2016.7

河北一誠、石田直子、馬場基、細田充主、武富紹信、山下啓子

線維性骨異形成を合併し多発骨転移との鑑別に苦慮した乳癌の1例
日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 第77(8): 1907-1911,
2016.8

千田圭悟、神山俊哉、折茂達也、横尾英樹、菅野宏美、武富紹信

99mTc-GSA SPECT/CT fusion imageによる術前肝予備能評

価が有用であった巨大肝血管腫の1例

日本消化器外科学会雑誌 (0386-9768) 49(9): 882-888, 2016.9

今泉健、本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、高橋典彦、川
村秀樹、畑中佳奈子、武富紹信

横行結腸mixed adenoneuroendocrine carcinomaの長期無
再発生存の1例

日本消化器外科学会雑誌 49(10): 1045-1052, 2016.10

阿部厚憲、永生高広、金沢亮、渋谷一陽、松澤文彦、森田恒彦、
本間重紀、川村秀樹、武富紹信

腹腔鏡下手術におけるエノキサパリンナトリウム投与の使用経験
日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 41(6): 897-901, 2016.10

本間重紀、吉田雅、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

大腸癌一臨床と研究の歴史と現状一

日本臨床 74(11): 1781-1785, 2016.11

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、近藤亨史、奥村一慶、河北一誠、
岡田忠雄、武富紹信

小児に対する外科治療一小児外科領域における内視鏡手術一

北海道外科雑誌 (0288-7509) 61(2): 7-14, 2016.12

《著書》

腰塚靖之、武富紹信

【消化器外科 肝癌に対する生体肝移植Up-to-date】

Annual Review 消化器 2016巻: 224-230, 2016.1

敦賀陽介、武富紹信

【でっかくドーン！オールカラー図解でみるみるわかる 新人
ナースのための消化器外科 術前術後ケアQ&A】(1章) 消化器
臓器のしくみとはたらきQ&A 膵臓のしくみとはたらき 膵・
胆管合流異常とはどんな病気?

消化器外科Nursing (1341-7819) 2016春季増刊: 32-55, 2016.4

湊雅嗣、武富紹信

【ずばり1ページ解説!術後ドレーンの知識・看護のまるわかり
ノート】消化器外科ドレーンの基礎知識 (解説/特集)

消化器外科Nursing (1341-7819) 21(6): 484-497, 2016.6

■ 学位取得者

山田 健司

■ 学位所得年月

2016年3月

■ 学位論文名

Studies on the functional analysis of CXCR7; tumor endothelial specific marker in tumor endothelial cells

(腫瘍血管内皮マーカーであるCXCR7の腫瘍血管内皮における機能解析に関する研究)

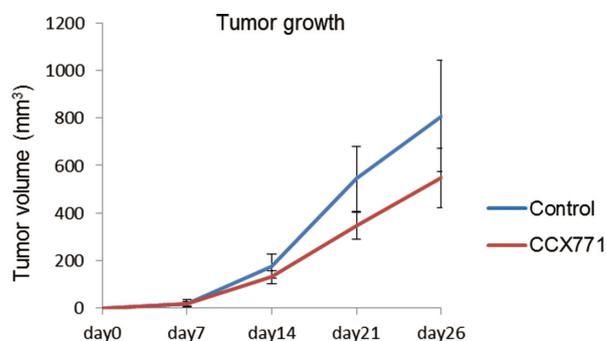
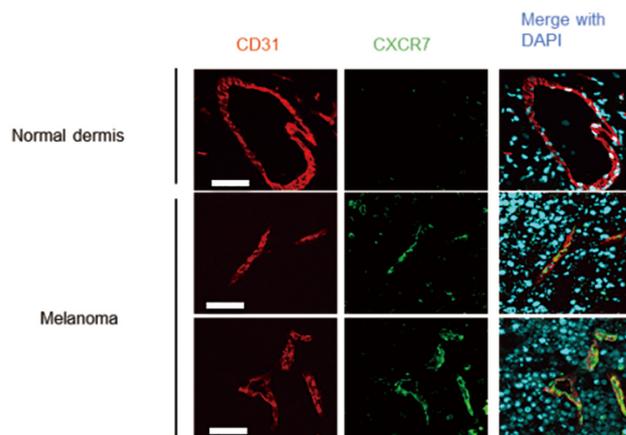
■ 基礎論文

Yamada K, Maishi N, Akiyama K, Towfik Alam M, Ohga N, Kawamoto T, Shindoh M, Takahashi N, Kamiyama T, Hida Y, Taketomi A, Hida K. CXCL12-CXCR7 axis is important for tumor endothelial cell angiogenic property, *Int J Cancer*: 137, 2825-2836, 2015

■ 要 旨

近年、vascular endothelial growth factor (VEGF) 中和抗体に代表される血管新生阻害療法は様々ながん治療に用いられており、生存率が向上している。しかし、VEGFは生理的な正常組織における血管新生にも重要な分子であり、VEGF阻害による高血圧や創傷治癒遅延などの様々な副作用が報告されている。我々はこれまでに腫瘍血管内皮細胞 (Tumor endothelial cell : TEC) を分離培養し、それらが正常血管内皮細胞 (Normal endothelial cell : NEC) と比較して染色体異常があること、抗がん剤などの薬剤に対する感受性が低いこと、様々な遺伝子の発現が亢進しており血管新生能が高いことなどを報告してきた。これら異常性を獲得したTECのみを標的とする治療法の開発が、より効果的で正常血管に対する副作用が少ない新規血管新生阻害薬の開発につながると考えた。DNA microarrayによる網羅的解析を行い、TECで特異的に発現するマーカーの同定を行い、NECに比べTECにおいて発現が200倍以上高かったC-X-C chemokine receptor type 7 (CXCR7) に着目した。CXCR7は7回膜貫通型タンパクであり、Stromal cell derived factor 1をリガンドとしている。脳腫瘍や前立腺癌・肺癌など様々な癌細胞で発現が亢進していると報告されており肺癌や大腸癌においてはCXCR7高発現と予後との関係が報告されている。また、前立腺癌・腎細胞癌組織では腫瘍部の血管においてもCXCR7が発現していることが報告されている。しかし、TECにおけるCXCR7の機能は未だ不明である。本研究ではTECにおけるCXCR7の血管新生に対する機能を解析し、CXCR7阻害による抗腫瘍効果を検討した。過去の報告に一致して本研究においてもCXCR7

はTECに高く発現していることが示された。次にTECにおけるCXCR7の機能を解析した。siRNAならびにCXCR7阻害剤CCX771を用いて同分子を阻害すると、TECの細胞遊走能や管腔形成能などの血管新生能が著明に低下した。また、マウスin vivo腫瘍においてCXCR7阻害剤CCX771により血管新生が阻害され、腫瘍の増殖が抑制された。これらの結果より、CXCR7はTECに発現亢進しており、その高い血管新生能に関与していることが示された。CXCR7は腫瘍血管内皮選択的な血管新生阻害療法開発のための新たな標的分子として期待される。



市川 伸樹

■ 学位所得年月

2016年6月

■ 学位論文名

マウス炎症性腸疾患モデルにおける新規抗炎症薬3-[(dodecylthiocarbonyl) methyl]glutarimideによる炎症抑制効果に関する研究

(Studies on Anti-inflammatory Effect of 3-[(dodecylthiocarbonyl) methyl]-glutarimide on Murine Models of Inflammatory Bowel Disease)

■ 基礎論文

Ichikawa N, Yamashita K, Funakoshi T, Ichihara S, Fukai M, Ogura M, Kobayashi N, Zaitsumi M, Yoshida T, Shibasaki S, Koshizuka Y, Tsunetoshi Y, Sato M, Einama T, Ozaki M, Umezawa K, Suzuki T, Todo T. Novel anti-inflammatory agent 3-[(dodecylthiocarbonyl)-methyl]-glutarimide ameliorates murine models of inflammatory bowel disease. *Inflammation Research* 2016; 65(3): 245-260

■ 要旨

【背景と目的】炎症性腸疾患の病態は、T細胞の無秩序増殖と、マクロファージ (Mφ) から放出される過剰な炎症性サイトカインによる持続性炎症が特徴とされる。一方、新規抗炎症薬3-[(dodecylthiocarbonyl) methyl] glutarimide (DTCM-G) は、RAW264.7細胞株において、LPS刺激によるAP-1誘導を抑制し抗炎症作用を示す。また、p70^{S6K}の阻害によりprimary T細胞の増殖を抑制する。今回、DTCM-Gを用いその腸炎抑制効果を検討した。

【方法】①雄BALB/cマウスに1.5mgTNBS/50% ethanol溶液150μlを注射しTNBS腸炎を誘発した。DTCM-Gを1日2回4日間腹腔内投与し、臨床病理学的所見を対照群と比較した。更に免疫組織化学染色、単離大腸粘膜単核球 (LPMC) を用いた構成細胞の評価、RT-PCRによるサイトカインmRNA発現評価を行った。②雄C57BL/6マウスに3% DSSを5日間自由飲水させDSS大腸炎を誘発させた。20または40mg/kg DTCM-Gを1日2回10日間腹腔内投与し臨床病理学的所見を対照群と比較した。③RAW264.7を用い、0-10μg/ml DTCM-Gの1μg/mlLPS刺激によるIL-6、TNF-α産生の抑制効果をELISA法により評価した。また、7.5μg/mlDTCM-Gの1μg/mlLPS刺激によるPDK1、AKT、GSK-3β、c-Raf、p70^{S6K}リン酸化抑制効果をwestern blot法により評価した。

【結果】①40mg/kgのDTCM-GはTNBS腸炎において、2-4日目のDisease Activity Index (DAI) を軽快させた。4

日目の体重減少を抑制し (Fig. 1)、腸炎肉眼スコアの改善、腸管短縮抑制、腸閉塞抑制、組織診/組織スコアの改善、MPO活性抑制において、著明な腸炎抑制効果を認めた。組織の免疫染色では2日目のF4/80陽性Mφ (Fig. 2左)、CD4陽性T細胞と2、4日目のMPO陽性好中球の浸潤を抑制した。2日目の単離LPMCの解析で、DTCM-GはCD11b陽性Mφ、CD4陽性T細胞数を減少させ、腸管組織のTNF-α (Fig. 2右)、IL-6、MCP-1、IFN-γのmRNA発現を抑制した。②DSS腸炎では、6-10日目の体重減少、DAI (Fig. 3) を軽快させ、組織所見の改善を認めた。③DTCM-GはRAW264.7に於いてLPS刺激によるTNF-α、IL-6産生を抑制し、GSK-3β serine9リン酸化を亢進させた。

【考察】DTCM-Gは、2つのマウス炎症性腸疾患モデルで、強力な腸炎抑制効果を発揮し、CD4T細胞、Mφの浸潤を抑制した。また、Mφに対するサイトカイン産生抑制、GSK-3β活性抑制と腸炎抑制効果の関連が考えられた。

【結語】DTCM-Gの炎症性腸疾患における新たな治療薬としての可能性が示唆された。

Fig. 1 TNBS 腸炎における体重減少抑制

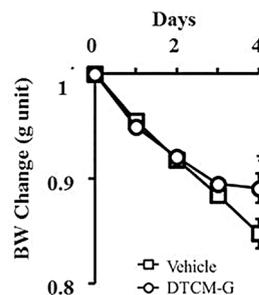


Fig. 2 TNBS 腸炎におけるマクロファージ浸潤抑制 (左) と TNF-α mRNA 発現抑制 (右)

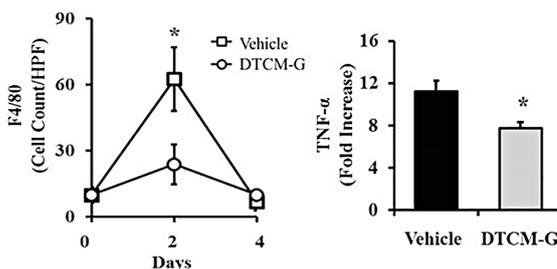
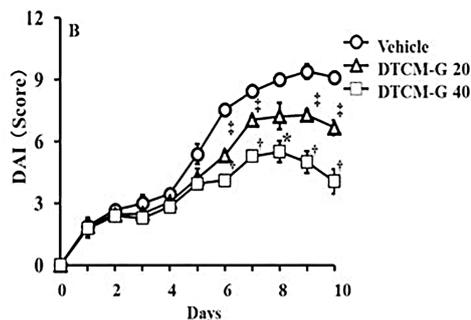


Fig. 3 DSS 腸炎における DAI 改善効果



研究費一覧

種別	事業名	研究代表者	研究分担者	交付額 (分担金配分額)	研究課題名	
科研費	基盤研究 (B)	武富 紹信		4,800,000	炎症性腸疾患における神経ペプチドシグナルの制御機構解明と疾患治療への応用	
	挑戦的萌芽研究	武富 紹信		1,500,000	肝臓グラフトへの移植前siRNA導入による肝炎ウイルス再感染予防法の開発	
	基盤研究 (S)	(前原 喜彦)	武富 紹信	(500,000)	がん幹細胞化に関するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発	
	基盤研究 (C)	神山 俊哉		1,200,000	肝癌細胞株における糖鎖異常と浸潤能との関連性の解析	
	基盤研究 (S)	(西村紳一郎)	神山 俊哉	(1,000,000)	網羅的糖鎖解析による新規癌マーカーの探索と診断技術の開発	
	基盤研究 (B)	嶋村 剛		5,400,000	脂肪肝グラフトのミトコンドリア機能と抗酸化能を増強する画期的な肝体外灌流法の開発	
	基盤研究 (C)	高橋 典彦		1,400,000	IL-6による免疫抑制を介した大腸がん肝転移機構の解明と新規治療法開発	
	基盤研究 (A)	山下健一郎		4,700,000	体外誘導免疫制御性リンパ球を用いた細胞治療による免疫寛容誘導に関する研究	
	基盤研究 (C)	崎浜 秀康		700,000	消化器癌の微小転移同定システムの臨床応用	
	基盤研究 (C)	本多 昌平		1,300,000	肝芽腫の発生・進展過程におけるDNAメチル化異常の解明	
	基盤研究 (A)	(檜山 英三)	本多 昌平	(500,000)	小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備	
	基盤研究 (C)	後藤 了一		1,700,000	ヒト血管移植片に対する抗ドナー抗体の病的意義と免疫抑制性細胞による治療効果の検討	
	挑戦的萌芽研究	三野 和宏		1,400,000	遺伝子導入を用いずに移植片のシャペロン発現を体外で調節する方法の開発	
	挑戦的萌芽研究	砂原 正男		1,100,000	肝芽腫局所進展に関わるドライバージェノム変異の解明	
	若手研究 (B)	柿坂 達彦		700,000	血漿タンパク質LRGの翻訳後修飾に着目した膵癌早期診断マーカーの解析	
	若手研究 (B)	柴崎 晋		900,000	EMTに注目した胃癌における循環・骨髄腫瘍細胞の臨床的意義の検討	
	若手研究 (B)	財津 雅昭		1,500,000	慢性拒絶反応における血管平滑筋細胞に対する制御性T細胞の効果の検討	
	若手研究 (B)	島田 慎吾		1,200,000	脂肪切除後の分子病態解明と抗酸化能増強による易障害性・易転移性克服法の開発	
	AMED・厚労科研	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 ii	(溝上 雅史)	武富 紹信	(10,000,000)	人工キメラ遺伝子と肝臓特異的な輸送担体の開発を基盤とした肝臓内HBVDNA不活化を目指した新規治療法の開発
		日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	(考藤 達哉)	武富 紹信	(2,600,000)	非炎症性肝がんに関する微小環境の解明に基づく病態関連マーカーと治療法の開発
日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i		(松浦 善治)	武富 紹信	(1,750,000)	O型肝炎の病態の解明と肝癌発症制御法の確立に関する研究	
日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i		(徳永 勝士)	武富 紹信	(1,300,000)	ゲノム網羅的解析によるB型肝炎ウイルス感染の病態関連遺伝子の同定と新規診断法の開発	
日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i		(前原 喜彦)	武富 紹信	(700,000)	多施設共同による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	
厚生労働行政推進調査事業費補助金 エイズ対策政策研究事業		(江口 晋)	嶋村 剛	(500,000)	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	
日本医療研究開発機構 未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業		(白土 博樹)	横尾 英樹	(500,000)	医療情報の高度利用による医療システムの研究開発	
その他	秋山記念生命科学振興財団	武富 紹信		1,000,000	ジアシルグリセロールキナーゼを標的とした革新的肝癌治療法の開発研究	
	公益信託 楡刀会外科医学研究助成基金	本間 重紀		500,000	消化器癌再発における上皮間葉転換した循環腫瘍細胞の意義とその精密な検出法の開発	
	第22回伊藤財団交流助成	本多 昌平		300,000	肺芽腫の発生・進展とエピジェネティック異常	